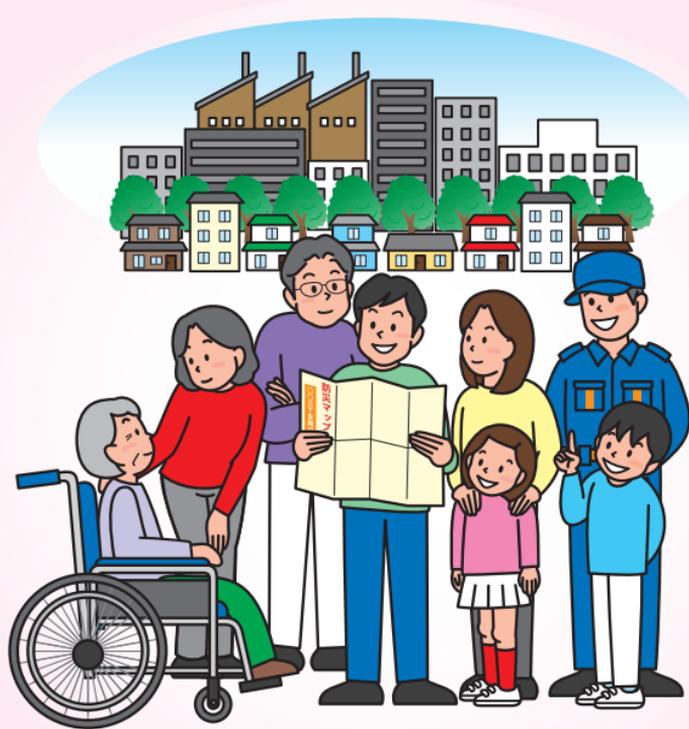


保存版

平川市 地震ハザードマップ

～ 災害から命を守る、日ごろの備えと地域のきずな ～



平成29年3月
平川市

■ ハザードマップとは

○地震ハザードマップとは

地震ハザードマップは、地震発生時に予測される震度分布図に、避難場所などの防災に関する情報を表したマップです。自宅や学校、職場などで予測される震度や災害時の避難場所、家の安全性などを確認し、防災対策に役立てましょう。



○地震ハザードマップの内容

ゆれやすさマップ

「ゆれやすさマップ」とは、平川市に影響のある海溝型や活断層、その他の地震について、それぞれ震度分布を作成し、それらを50mメッシュごとに想定される震度の最大値を表現した地図（最大震度分布図）です。



地域の危険度マップ

「地域の危険度マップ」とは、「ゆれやすさマップ」で示された地域ごとの震度と、建物の構造（木造・非木造の別）及び建築年次別の建物棟数の推計結果と、過去に生じた地震による各地の建物の被害状況に基づく経験式から、50mメッシュ内の全壊する建物の割合（全壊率）を算出し、それを5段階で地域の危険度として示したものです。この危険度が高い地域ほど、相対的に被害を受ける建物が多いことを示しています。



■ 発生のしくみと地震のタイプ

地震は、地下の岩盤に力が加わり、ある面（断層面）を境にして両側の岩盤がずれ動く断層運動により発生します。プレートの沈み込みにより、岩盤は次第に変形し、ひずみという形でエネルギーが蓄積されますが、ひずみが限界に達すると岩盤の破壊（地震）が起こり、蓄えられていたエネルギーが地震波となって放出されます。この地震波が地中を伝わり、地面を揺らすことになります。

日本周辺で発生する地震は、活断層の活動による「活断層地震」とプレートの沈み込みによる「海溝型地震」に大別することができます。

■ 活断層地震

陸域で主に活断層が動いて起こる地震です。規模は小さいものの、震源からの距離が近いために大きな被害が発生することが多くあります。

「平成7年 兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)(M7.3)」

「平成16年 新潟県中越地震(M6.8)」

「平成28年熊本地震(M7.3)」など ※M: マグニチュード

■ 平川市に影響があると考えられる主な活断層

津軽山地西縁断層帯（南部）

五所川原市飯詰から青森市浪岡銀にかけて約16kmにわたって分布している津軽山地西縁断層帯（北部）と、青森市西部から平川市にかけて約23kmにわたって分布している津軽山地西縁断層帯（南部）からなっていることが認められています。

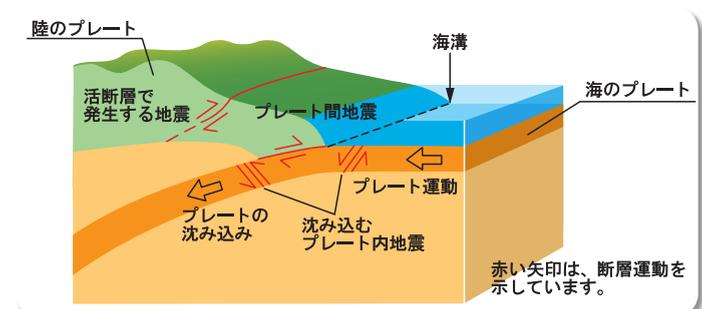
■ 海溝型地震

プレートの沈み込みにより起こる地震で、これには「プレート間地震」と「プレート内地震」があります。規模が大きく、また大規模な津波による被害も発生することがあります。

プレート間地震：「平成23年 東北地方太平洋沖地震

（東日本大震災）(M9.0)」など

プレート内地震：「平成6年 北海道東方沖地震(M8.2)」など



文部科学省「地震がわかる！、防災担当者参考用資料」を基に作成

■ 緊急地震速報について

震度5弱以上と予測される地震発生時の際に、震度4以上の強い揺れが予測される地域に配信される緊急情報です。

確認方法

① 緊急速報メール

携帯電話各社（NTT ドコモ、au、ソフトバンク、ワイモバイル）が行う緊急地震速報の配信サービスです。
※機種により受信設定が必要となる場合がありますので、対応機種等については、携帯電話各社の窓口やホームページで確認することができます。

② 行政からの防災無線放送

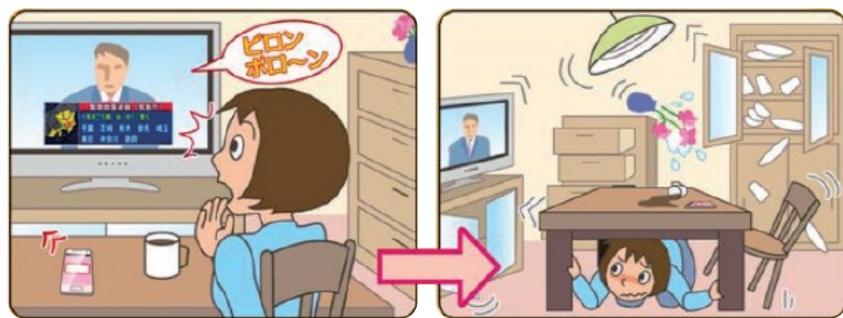
緊急地震速報を各市区町村の専用の端末機（J アラート）で受信した場合、防災無線より自動放送されます。

③ テレビやラジオ

日本放送協会（NHK）及び民間の放送局（準備が整った放送局より順次）のテレビ・ラジオから専用の報知音が鳴り、緊急地震速報が伝達されます。

緊急地震速報を見聞きしたときは…

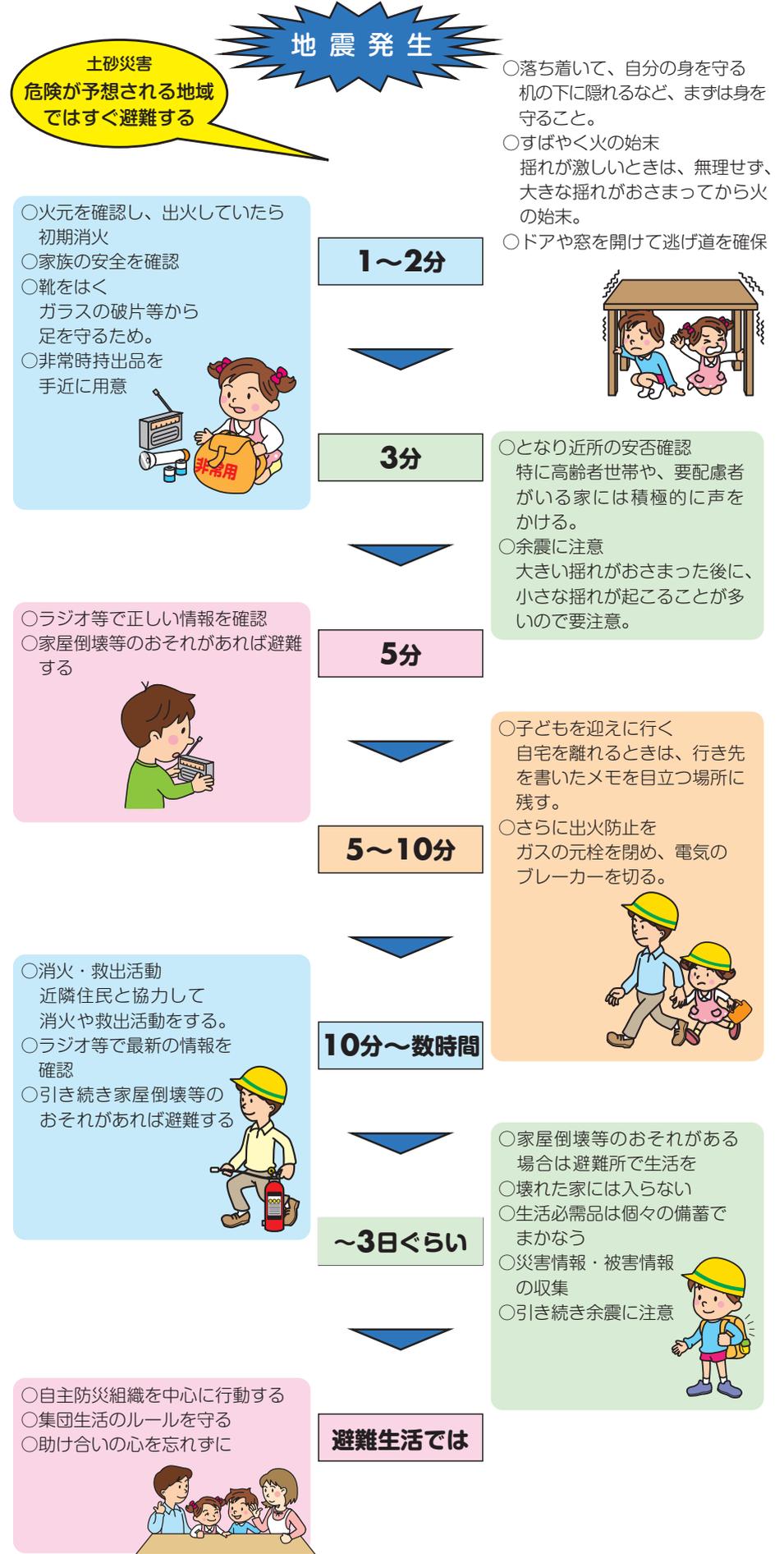
緊急地震速報を見聞きしてから地震の揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。見聞きしたら、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



■ 地震発生時の行動パターン

冷静に行動するために、行動パターンを覚えておきましょう。
大きな地震が発生した時、一瞬の判断が生死を分けることがあります。

地震発生時の行動パターン



■ 家庭における備え(非常持出品)

非常持出品

避難するときに持ち出す最小限の必需品です。持出袋が重たすぎると避難に支障が出るので必要最低限のものをまとめ、すぐ取り出せるところに保管しておきましょう。

ヘルメット・防災ずきん

落下物から頭を守るための必需品です。



懐中電灯

停電時や夜間の移動に欠かせません。人数を考えて用意しておくとお安心です。



携帯ラジオ

小型で軽く、FMとAMの両方を聴けるものを用意しましょう。



予備電池

意外と準備を忘れてしまいがちです。懐中電灯、携帯ラジオ用に少し多めに用意しておくとお安心です。



非常食

乾パンやアルファ米など火を通さずに食べられるものを用意しましょう。



水

持ち運びに便利なペットボトル入りを用意しましょう。



救急医薬品、常備薬

キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬など。常備薬があれば忘れないように備えておきましょう。



貴重品

預貯金通帳、健康保険証、免許証など。現金は紙幣だけでなく、公衆電話用の10円玉も準備しておくとお便利です。



生活用品

衣類、軍手、ナイフ、ライター、缶切り、簡易トイレなどの準備も忘れずに。



■ 家庭における備え(非常備蓄品)

非常備蓄品

災害復旧までなんとか自力で生活するための用意をします。できるだけ7日以上以上の備えをしておきましょう。日常生活の中で、備蓄した水や食料を使いまわすこと(循環備蓄)で賞味期限を気にすることなく、備蓄することができます。

非常食

そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるものを準備しましょう。アルファ米やレトルトのごはん、缶詰、お菓子など。



水

飲料水は、一人につき1日3リットルが目安です。



生活用品

カセットコンロ、衣類、洗面用具、薬などを準備しましょう。



工具類

家屋が倒壊した場合に備えて、救出活動に使えるバールやのこぎり、車のジャッキなども準備しましょう。



循環備蓄とは

「必要なものを必要な分だけ」を実践し続けるため、備蓄(ストック)している食料や飲み物を賞味期限前に消費し、消費した分を新しく補充していく方法です。



家族構成に合わせた準備が大切です!

非常持出品、非常備蓄品はマニュアルどおりのものをそろえるだけでは足りません。家族の人数分をそろえることはもちろんですが、家族構成に合わせた準備が大切です。子どもがいる家庭では、子



どもの年齢によって必要なものが変わるので定期的な見直しも必要です。

乳幼児がいる家庭

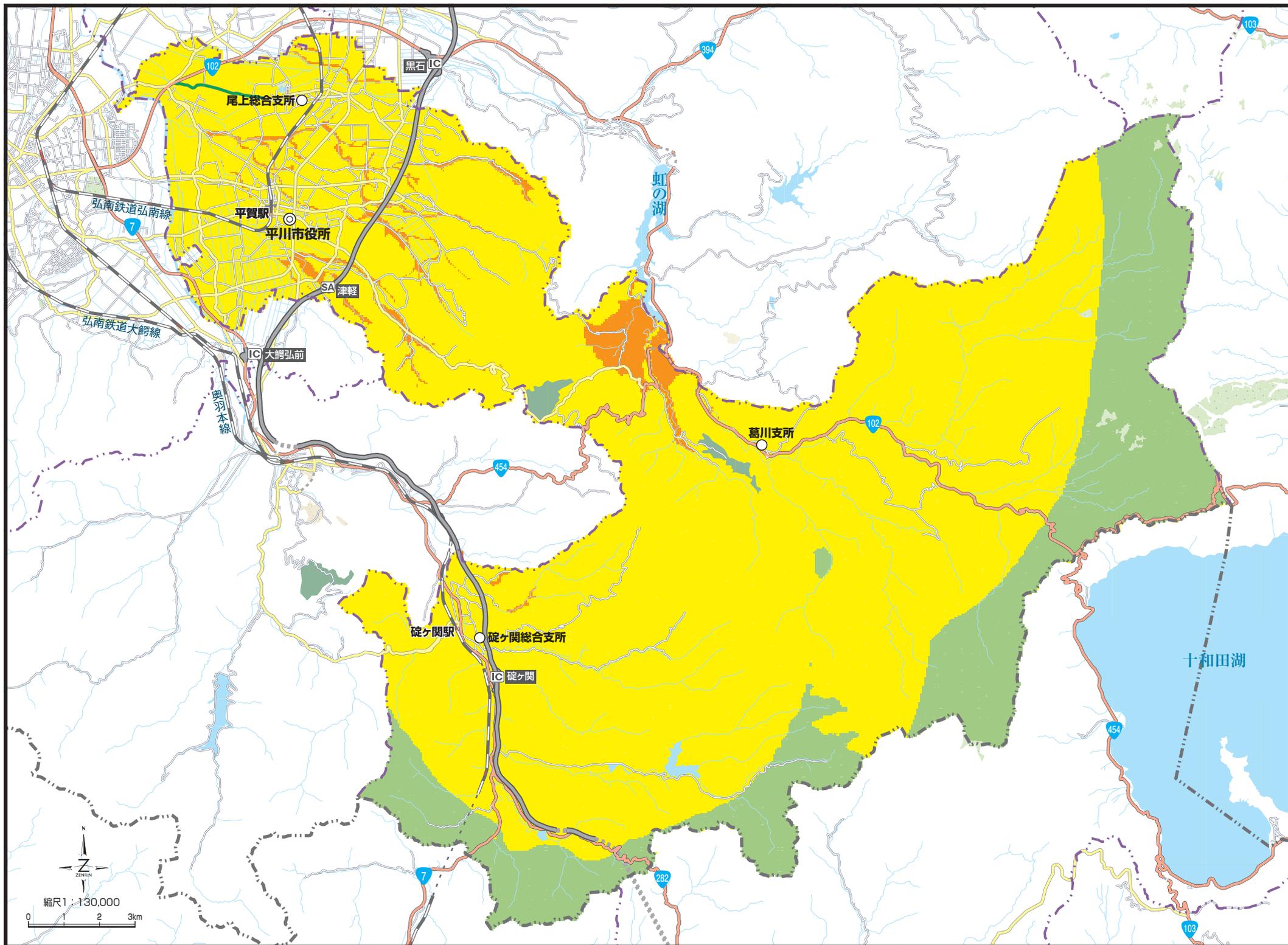
粉ミルク、ほ乳びん、おむつ、離乳食、スプーン、洗浄綿、バスタオルまたはベビー毛布、ガーゼまたはハンカチ、バケツ、ビニール袋、石けんなど。

妊婦がいる家庭

脱脂綿、ガーゼ、洗浄綿、新生児用品、ティッシュ、石けん、母子手帳など。

介護が必要な高齢者がいる家庭

着替え、おむつ、ティッシュ、補助具、常備薬、障がい者手帳など。

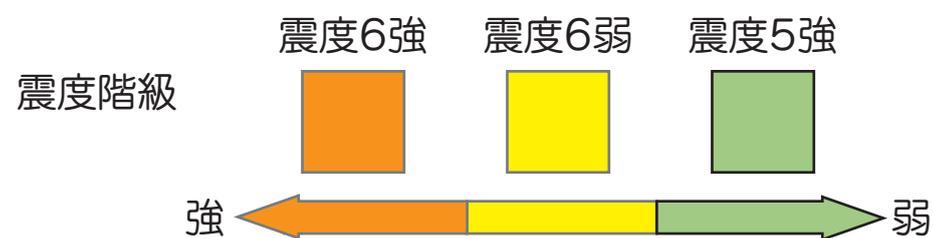


○ゆれやすさマップとは

ゆれやすさマップは、平川市に影響のある複数の地震の震度分布図を総合化し、想定される震度の最大値を表現した地図(最大震度分布図)です。

想定地震は、内閣府防災担当「地震防災マップ作成技術資料」(平成17年3月)に基づき設定しています。

ゆれやすさ



■ 地震ハザードマップの確認方法について

地震ハザードマップは、このマップの他、市ホームページ（以下の URL・QR コードを参照）にアクセスすることで閲覧ができます。

<http://www.city.hirakawa.lg.jp/docs/2017020600019/>



■ 防災情報の確認方法について

市では、平成27年4月1日より平川市防災行政無線の本格運用を開始しました。地震・台風・豪雨・噴火などの災害時または災害の恐れがある場合、市内108カ所の屋外拡声子局（スピーカー）より、住民や一時滞在者に対し、一斉に迅速かつ確実な情報を伝達します。

この音声放送を聞き漏らしたり、よく聞こえなかった場合、次の方法で確認することができます。

※火災に関する情報は、弘前消防本部災害情報テレホン（TEL 0180-991-995）をご利用ください。

1. テレガイド TEL0172-43-0730

自動音声案内により、24時間以内の放送内容を新しい順に聞くことができます。※ご利用の際は通話料金が発生します。

ただし、町会等が直接マイクで行った地域放送については、テレガイドで確認できません。各町会等の放送者へ直接ご確認をお願いします。



2. 防災ツイッター

市ホームページのトップページ上（以下の URL・QR コードを参照）のツイッターより、防災情報や防災行政無線による放送内容を閲覧できます。

<http://www.city.hirakawa.lg.jp/>



■ 防災情報の確認方法について

3. 防災情報メール

予めメール登録しておくことにより、防災行政無線による放送内容や防災情報をメールで受け取ることができます。

市外にいても情報が届くため、有効に活用してください。

（登録方法）

①空メールの送信

携帯電話・パソコンから、

<http://bousai.city.hirakawa.lg.jp/RabbitMobile/Top/Top>（メール配信サービス）へアクセスし、【新規登録】から空メール（件名・本文に文字を入力しないメール）を送信してください。QRコード対応携帯電話の方は、右のQRコードを読み取ることでアクセスできます。



※本フォームからは「登録内容変更」「配信停止」の手続きも行えます。

②登録用返信メールの受信

登録のご案内メールが届きます。メール到着後24時間以内に、返信メール本文中に記載されたURLに接続してください。

※迷惑メール対策等で受信拒否設定をしている場合は、ご案内メールが届かない可能性があります。「bousai7@city.hirakawa.lg.jp」からのメールを受信できるよう、設定の変更をお願いします。

③本登録

新規登録フォームが表示されたら、画面の指示に従い、●登録欄の「個人パスワード」を設定し「地区区分」を選択のうえ、「送信する」を押してください。確認画面が表示されますので、間違いがなければ「送信する」を押せば登録完了です。

（ご利用上の注意）

- ・本サービスの登録料は無料です。ただし、通信量は利用者の負担となります。
- ・情報は随時（不定期）配信させていただきます。
- ・本サービスによるメール配信は、「情報送信」のみです。配信されたメールへの返信はできません。
- ・メールはネットワークの混雑状況や通信インフラの性質上、遅延や配信されない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・登録された個人情報は、本メールの目的以外に使用することはありません。

■ 我が家の防災メモ

■ 家族の緊急連絡先

連絡先	電話（勤務先・学校）	住所	メモ

■ 親せき・知人の緊急連絡先

連絡先	電話	住所	メモ(家族との関係など)

■ 避難所

一時的避難場所	指定緊急避難場所	指定避難所

■ かかりつけ病院・医院及び投薬の処方箋情報

病人名・ケガ人名(家族)	年齢	性別	かかりつけ病院・医院	診療科目	TEL	住所	病名	投薬名

■ 緊急時の連絡先 ～いざという時の連絡先～

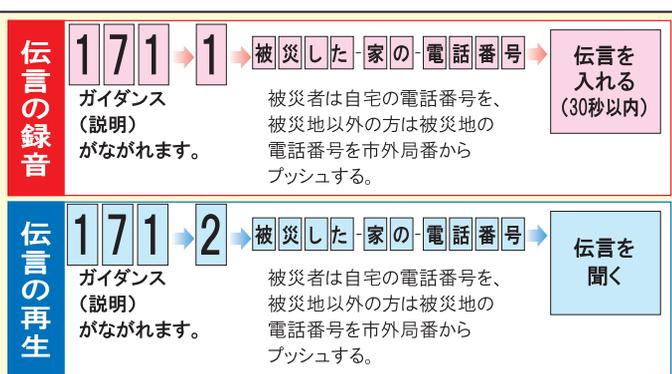
連絡先	電話	連絡先	電話
平川市役所 本庁舎	0172-44-1111	弘前地区消防事務組合 平川消防署	0172-44-3122
尾上総合支所	0172-57-3111		
碓ヶ関総合支所	0172-45-2011	弘前地区消防事務組合 平川消防署・碓ヶ関分署	0172-45-2240
葛川支所	0172-55-2544		
黒石警察署	0172-52-2311	黒石警察署平賀交番	0172-44-3048
		防災無線テレガイドサービス	0172-43-0730

※もしもの時に備えて、地震発生時に自宅から避難する場所の連絡先をメモしておきましょう。

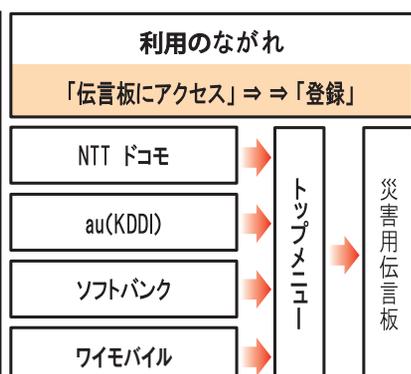
■ 安否情報の確認 ～災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板の使い方～

地震などの災害時には、一般電話などがつながりにくなります。災害時に家族や知人の安否確認ができるよう、非常時の連絡方法を覚えておきましょう。

○災害用伝言ダイヤル「171」



○携帯電話の災害用伝言板



※災害時（震度6弱以上の地震など）に開設されます。
※毎月1日、正月三が日、防災週間、防災とボランティア週間には、体験利用ができます。使い方を確認しておきましょう。